

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 北海道中学校剣道大会事業補助金
-------------------	------------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	1	子どもたちの生きる力を育む
小分類	3	たくましく生きるための健康や体力づくり
主要な施策	3	地域との連携
事務事業番号	002	事務事業コード 52133002 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	第 3 0 回北海道中学校剣道大会事業補助金
------	------	------------	------------------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 第 3 0 回北海道中学校剣道大会
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 登別市で開催される第 3 0 回北海道中学校剣道大会を支援する。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 心豊かで心身ともに健康な生徒の育成を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	大会参加人数	人	目標値	341	0	0	0	0
			実績値	262				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	240	0	0	0	0	0
合 計				240	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしもが事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？
生徒に広くスポーツの機会を与え、中学校の体 育振興を図るために必要な事業である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由は何 ですか？
第30回北海道中学校剣道大会を開催すること により、心豊かで心身ともに健康な生徒の育成 が図られる。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
第30回北海道中学校剣道大会の開催にかかわ らず、授業・部活動を通じ、体育振興を図る。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由は何ですか？
剣道大会は、大会参加者から参加料を徴して おり、予算の削減は、参加者の負担増加及び大会 規模の縮小等につながる。			

担当グループによる評価

終了	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	第30回北海道中学校剣道大会は、平成21年度のみで開催である。
----	----------------------------------	---------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考	
----	----	--

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）